

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

経営理念に基づき、地域経済の発展や中小企業に寄り添った経営支援を続け、会社の存続・雇用の安定により従業員やその家族の幸せに貢献する企業をめざす。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	複雑化・多様化するビジネス環境への対応として、ダイバーシティ・マネジメントにより新たな価値創造に参画し時代を生き抜く企業をめざす。	女性管理職2024年4名(33.3%)から2026年までに5名女性管理職比率を50%以上を目指す。
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	熊本本部社屋に太陽光発電システムを設置しており、電力使用量の削減をめざす。	社内に節電を周知し使用電力量を削減する。 2026年間使用量7%削減(2023年比)
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	中小企業の持続経営をトータルサポートし、地域経済の発展に貢献するため、税務や経営に関するセミナーを開催する。	セミナー開催回数 2023年度 年間2回 2026年度 年間6回以上

<パートナーシップ>

京都大学・関西大学・拓殖大学・福岡大学の教授と実行体制を構築し、SDGsの推進および目標達成に関して産学連携で取組む。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	複雑化・多様化するビジネス環境への対応として、ダイバーシティ・マネジメントにより新たな価値創造に参画し時代を生き抜く企業をめざす。	女性管理職2021年2名(18.2%)から2024年までに3名(27.3%)、2030年までに5名(33.3%)へ。	2024年6月現在、管理職12名中女性管理職4名(33.3%)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	CO ² 排出量の削減をめざす。	社内に節電を周知し使用電力量の削減を実施する。(年間使用量5%削減)	2023年自社社屋に設置した太陽光発電の発電量は21,179kWh。年間使用量5%削減は達成した。
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	地域経済の発展、中小企業に寄り添った健全な企業経営の支援を続ける。	クライアントの黒字化率79%から100%へ。	データ抽出が不可のため数値化不能

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。